

兵庫県拉致問題啓発ビデオ

私たちにできること

～拉致問題の解決を願って～

上映時間約42分 DVD(字幕付き)

令和3年度企画・制作：兵庫県 兵庫県教育委員会 公益財団法人兵庫県人権啓発協会

- Chapter 1 北朝鮮当局による拉致問題とは
- Chapter 2 兵庫県出身の拉致被害者
- Chapter 3 拉致被害者・特定失踪者のご家族の思い
- Chapter 4 若い世代へのメッセージ
- Chapter 5 私たちにできること



出典：拉致問題対策本部HP

－制作のねらい－

北朝鮮当局による拉致問題は、重大な人権侵害です。しかし、拉致被害者やそのご家族等の高齢化が進み、この問題の風化が懸念されています。そこで、兵庫県出身の有本恵子さんをはじめ拉致被害者等の一刻も早い帰国を願い、県民(特に若い世代)の拉致問題への関心と認識を深めるための啓発ビデオを制作しました。

「YouTube 兵庫県人権啓発協会公式動画チャンネル」にて配信中！

人権研修会や学校の授業等でも是非ご活用ください。

兵庫県人権啓発協会 YouTube

検索

※「ひょうごチャンネル」(<https://hyogo-ch.jp>)からも視聴できます。

※市町、学校等への貸出用DVDもあります。



お問合せ先：兵庫県県民生活部総務課(人権推進班) TEL078-362-3228

【あらすじ】

Chapter 1 北朝鮮当局による拉致問題とは

県立高校の放送部で活動する高校生 瞳は、自主制作番組の企画テーマとして拉致問題を提案し、同じ放送部員の親友 雪とともに、拉致問題について調べる。



Chapter 2 兵庫県出身の拉致被害者

瞳と雪は、拉致問題について調べるなかで、兵庫県出身拉致被害者（有本恵子さん、田中実さん）のを知る。また、有本恵子さんのご家族のメッセージなどを通して、他人事にはしてはいけない問題と感じ、「拉致問題を考える国民のつどい」への参加を提案する。



Chapter 3 拉致被害者・特定失踪者のご家族の思い

瞳、雪、そして、最初は拉致問題に関心がなかった放送部員 徹の3人は、国民のつどいに参加し、拉致被害者や特定失踪者のご家族の思いに直接触れ、さらに拉致問題への認識を深めていく。



Chapter 4 若い世代へのメッセージ

有本夫妻の県内中学生に宛てたお手紙の朗読、内閣官房長官や県知事へのインタビューなど国民のつどいでの体験を通して、瞳たちは、若い世代が拉致問題に関心を持つことの大切さを強く感じる。



Chapter 5 私たちにできること

国民のつどいに参加した瞳、雪、徹は、拉致問題の解決を願い、これから自分たちに何ができるかを提案する。

そして、拉致問題をテーマにした番組づくりに取り組むことを放送部全員の賛成で決定する。

